
VOICE ANDROID (ボイス アンドロイド)

アノム (黒音レコ)

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ボイス
VOICE アンドロイド
ANDROID

【Nコード】

N7243X

【作者名】

アノム（黒音レコ）

【あらすじ】

ボカラン学園の寮生の黒音レコ。

いつでもどこでも明るいで

夏休み明けに転校生が来るから案内役を頼まれる・・・

黄色い花が二つ学園に咲き誇る(前書き)

主：一人称が不安定なのは仕様だよ、「」ちゃんど定めるやゴルア
ア！」「」

レコ：ggdgdだけど見てもらえると嬉しいな

レン：レコを自分だと思って読んでくれ

リン：・・・私の言うセリフないじゃん

主：ほとんどレンリンだからね！反対派の人は見ないことオススメ
！でしょ？

あ、はじめるよ

リン・レン・レコ：はやっ！

黄色い花が二つ学園に咲き誇る

8月31日

ブルルルル・・・

『もしもし、黒音さんの御宅ですか？・・・あ、明日転校生が二人来るからクラスでも明るいろこさんに学校の案内を頼みたいんですけど・・・え？いいんですか？よかった・・・こんな夜にすいません。ありがとうございました』
ブツツツーツツー・・・

9月1日

「ん〜楽しみだな〜どんな子なんだろうな〜」

ボクはウキウキしながら校長室に入った

ガラガラ・・・

「失礼しま〜す！」

「あ、ちょうどいいタイミングできた！二人とも、君たちと同じ2
2だよ。わからないことがあったら彼女に聞いてくれ」
うつわあ・・・

女の子はかわいいし、男の子はかっこいいし・・・

この子たちの案内役なんて・・・！！

「こんにちは、レコちゃん」「こんにちは

声、似てるなあ・・・

顔立ちも似てるし・・・

「双子・・・？」

「そうだよ。ボクはレンで」「私はリンだよ」

「よろしくねっ！！リン、レン！！！！」

こうして三人で過ごすことになったけど、美形姉弟だけあって超モテるだろうな・・・

そして、リンとレンを守っていたりしたらみんなに嫌われてしまう
かもな・・・

黄色い花が二つ学園に咲き誇る(後書き)

レコ：短いね

レン：ggd ggdだな

リン：意味不明

主：自分でもわかってるよ！でも直せないんだもん！

レン：こんな主にコメントを残してあげてね

レコ：きつと喜んでそうするよ

リン・レン・レコ・主：まったね〜

黄色い花の近くに黒い・・・ (レン目線) (前書き)

主：読んでくれてありがとう

レコ：そういえば、ボクって髪何色なの？

主：え？漆黒だよ？

リン・レン：黒っっっ！！

レコ：ってか何でボクっ子？

主：細かいことは気にせずスタートオ

黄色い花の近くに黒い・・・ (レン目線)

9月1日

「転校生がこのクラスに入ってきました。リンとレンです。仲良くしてあげてくださいね」

ボクはレコと気に入った子以外と仲良くする気はないけどね

「っっはっい」「っ」

HRが終わった瞬間にレコがボクたちの元へきた

「リン、レン。何かあったら呼んでね。その為に案内役がついてるんだからさ」

レコは笑顔でそう言ってきた

かつ可愛いノノノ

やっぱりすごいタイプだノノノ

「あゝ俺だけにしたい・・・(ボソッ)」

「え？何か言った？」

キョトンとした顔でボクの顔を覗くレコが可愛すぎて・・・

ギューーーーーーッ

抱きしめてしまったっ！！

「あっ！いやっ！何でもないっ！！ノノノ」

顔が熱い・・・

リンに見られたら・・・

ってガン見&2828?!

絶対家帰ったらいじられる・・・

「リン、一週目は体育だからついてきて。レンはボクが頼んどいた人が案内してくれるからついてってね」

あ！リンに口止めしなきゃ！

「りん「なあ、転校生だよな？」」

呼び止める前に男子から呼び止められた

「え？あ、うん。そうだよ」

レコと同じ黒髪の藍色の目なんだな・・・

「えっと・・・」

あ、もうレコいないからフツーに言っただけ

「お前、誰？」

「あ、オレはレオ。レコの幼馴染」

「幼馴染・・・」

きつと”あんなこと”がなければ俺とレコは付き合ってたかもしれ
ない・・・

こんな優男っぽいのが幼馴染でも気にせず付き合えたらうに・・・

レコ、忘れてる？

小さい頃に約束したこと

俺は今でも覚えているよ

「レン？どうした？」

「・・・なんでもない」

俺はレオに案内なんてされたくない

そこらへんの男子に聞くよ

「なあ、体育ってどーすりゃいいんだ？」

「体育館に集合、今回から違う单元だから何するかは知らねー」

「確か女子は隣でマットだったよな？」

隣ならレオの案内いらなかったんじゃないか？

あ、男子の内容は知らないのか・・・

「ああ、レコの可愛いとこ見えるからこの日を待ってたんだー！」
・・・

やっぱりレコはモテる

本人は自覚がないけど明るく、優しいし差別をしない

体が硬いたため柔軟をしている姿が一生懸命すぎて可愛らしい
そんなこと、知ってる

レコはレコのことをどう思っているのだろうか・・・

「リンとレンってモテそうだな。でも今は手を出せずにいる状態
ってとこかな？」

「え？どうして？」

「黄色い花の近くに黒い・・・」

「」「子猫!!」「」

「レコに守られてるから手出しできないってわけだよ」

黄色い花の近くに黒い・・・ (レン目線) (後書き)

主：レンってばレコいなくなったらキャラ変わった・・・

レン：レコにはいい子だっと思って欲しいからね

リン：前に比べたらマシになったんじゃない？

主：前作（レン愛小説）、消せないかな・・・？まあいいや

リン：レコと何かあったっけ？

レン：リンも忘れた？！

リン：ジョークだよ。ここまで見てくれてありがとう。じゃ！

リン・レン・主：まったね〜

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7243x/>

VOICE ANDROID（ボイス アンドロイド）

2011年10月20日06時14分発行